

大切な思い出

ノーマン先生との出会い

人間福祉学部社会起業学科教授 山本 隆

ノーマン・ジョンソン先生 との出会い

- ノーマン先生はイギリスで有名な社会政策学者
- 出会いは、『福祉国家のゆくえ』の翻訳がきっかけ
- 1993年9月3日 ストークオントレントの駅で、笑顔でお迎えを受けた
- キール大学に案内され、キャンパスで過分なおもてなしを受けた
- ここから子弟関係の始まり

- 実は、その日は奥様のご自宅でお待ちで、
- ウェッジウッドの工場見学の予約をされていた
- 日帰りであることからやむなくお断りした

- 帰り この先生とは長いおつきあいが始まる予感

- 『福祉国家のゆくえ』の後にも、『グローバリゼーションと福祉国家の変容』を訳出した
- 以後、打ち合わせでは、いつも最寄り駅でお待ちいただき、お気に入りの日本車で大学やご自宅まで送迎していただいた
- 2000年の冬から2001年の夏にかけて三度にわたり、翻訳の打ち合わせのため渡英したが、その際ノーマン先生からレクチャーを受ける機会を得た
- ご自宅を訪問した際には、いつもルース夫人が会話に加わり、楽しいひと時を過ごすことができた
- ご夫妻のおもてなしは心温まるものであった

おしどりご夫婦



- ご退職後は、日本に毎年招聘した
 - 老けこまれては大変
 - 恩返し
-
- 毎日ホテルに向かい、食事をご一緒する
 - いつも研究の話ばかりであった

ところが…

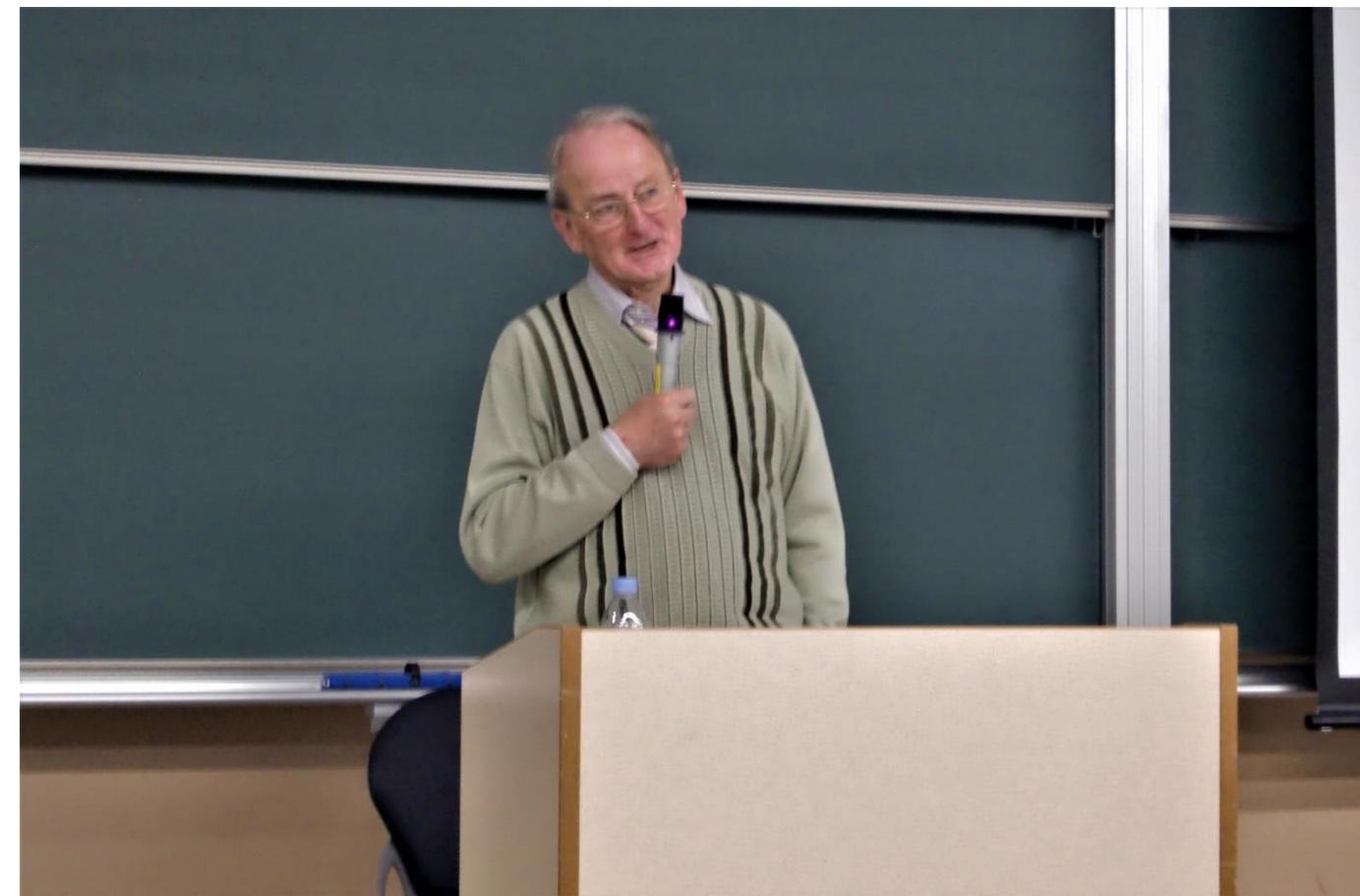
- 奥様とのなれそめの話になり…
- 大学でのクリスマスの夜
- ノーマン先生はその日も勉強、勉強
- ご友人からの誘いでパーティにしぶしぶ参加
- そこでルースさんとの出会い
- 一目ぼれ
- ブロンドで知的
- ご本人いわく「知性と美の合体(marriage)」
- ご馳走さま

- ノーマン先生とは公私ともども長い付き合いをさせていただいた
- とても面倒見がよく、無理難題を依頼しても快く受けてくださった
- 関西学院にも着ていただき、特別講義をしていただいた

京都の自宅近くのレストラン(西京区小倉山荘)の庭園にて
2009年2月21日



2011年11月10日関学G号館での講義



湖水地方

2014年8月



- ノーマン先生のメール
- 「僕たちの新婚旅行は湖水地方だったよ
- キャンプをして過ごしたが
- 毎日雨だった!」(笑)

人生の不思議さ 邂逅の力

- ノーマン先生抜きに今の研究はなし
- ユーモアの持ち主
- 社会科学の視点は抜群
- これほどまでに人を大切にする方はなし
- 感謝してもしきれない大切な恩師

- 2017年9月28日逝去